

いまじゅくしょうがっこうとしょかん 今宿小学校図書館だより 令和7年度第2号 令和7年6月11日(水)

Welcome to Library!!

いまじゅくしょうがっこうとしょかん
今宿小学校図書館へようこそ!!



としょかん 図書館は、みんなの「読みたい!」「知りたい!」「学びたい!」を応援します!!

あめ おお 雨が多くなる季節です!

そと あそ 外で遊べない雨の日はゆっくり読書しませんか?



☆ あめ ひ としよしつ 雨の日は図書室へ!

そと あそ ひ としよしつ とくどき せき 外で遊べない日の図書室は、時々、席がいっぱいになることがあります。

ルールを^{まち}守って静かに^{しず}過ごしましょう!

* としよしつ ほん 図書室は本と向き合う大切な場所です。

しず ある よ 静かに歩きます! 読んでいる人の時間を大切に!

* としよしつ 図書室では0か1の^{こえ}声で^{すご}過ごします。

ひとり はな はじ 一人が話し始めると、少しずつ声が大きくなっていきますので、
き 気をつけましょう!



☆ としょいんかい 図書委員会からみなさんへ!!

まいとしこうれい 毎年恒例の5クイズ! 今年も開催し
ます! いろいろなテーマに関する5つ
のクイズに^{ちようせん}挑戦してください!

くわしくは、^{ほうそう}放送でお知らせします!



☆ しんかん し 新刊のお知らせ!

ちゅうがくねんいじょう 中学年以上のみなさんには「怪盗レッド」
がおすすめ! 主人公のアスカは中学一年生
の怪盗(どろぼう)です。

でも、^{ぬす}盗むのは悪い人からだけ!

スリル^{まんてん}満点のお話です!!



☆ 保護者の皆さまへ

読書感想文コンクール 2025 年のお知らせです。

今月から、今年度の課題図書を各教室に順番に回覧しています。裏面にて簡単な紹介を
しておりますので、参考にいただければと思います。尚、本校図書室では課題図書の
貸出は行っていません。ご了承ください。中央図書館、駅前図書館などで貸出が始まって
おりますので、ご利用ください。

「ライオンのくにのネズミ」

さかとくみ雪／作 中央公論社

ライオンの国に引っ越してきたネズミの家族。体の大きさも言葉もぜんぜんわからない…。となりの席のライオンは声も大きくて、きっとぼくを食べようとしているんだ。

毎日がとてもつまらなかったけど、ある日リスの友だちができたんだ。その大切な友だちをライオンたちがからかうから、ぼくは本当に怒って…



※世界にはいろいろな国があって、いろいろな文化もあります。ちいさなネズミの目線を通して、多様性を考える絵本。

「ともだち」

リンダ・サラ／作 ひさかたチャイルド

ぼくとエトはいつもいっしょ。いまは、だんボール箱であそぶのがお気に入り。おうさまになったり、かいぞくになったり、ぼくたちはなんにでもなれる。そして、いつもとってもなかよし。

ある日、しらない男の子がだんボールをもってやってきた。「なかまにいらてくれる？」

エトは「いいよ!」といっていっしょにあそびはじめ

たけど、ぼくはなかまはずれになったみたいなきがした…。



「ぼくのねこのポー」

岩瀬成子／ PHP 研究所

放課後クラブからのかえりみち、ぼくはへいの上にしまよのネコがねているのを見つけた。ぼくのネコにしたいくて、家に連れて帰ったんだ。次の日、ぼくのクラスに転校生が来た。その子が飼っていたネコがいなくなったことを聞いて、ぼくはドキドキした。

もしかしてあのネコじゃないよね…。



※主人公のちょっとした嘘がトゲのように心に刺さりします。

「ワレワレはアマガエル」

松橋利光／文・写真 アリス館

みんなは「カエル」と聞くと、どんなカエルを思いかべる？ジャンプがとくいで、きみどり色で、目がぴょこんと出ていて、口が大きくて…そう!アマガエルだよね!でも、キミはカエルのことをどれくらい知っているかな?これを読めばキミもカエル博士だね!



※一年中カエルのことを考えている著者が、写真とわかりやすいことばで、アマガエルのことを徹底解説します!

課題図書 中学年

「ねえねえ、なに見てる？」

ビクター・ベルmont／文・絵 河出書房新社

トーマスは色の見え方が人とはちがう男の子。ねえさんは生き物が好きだから、肉も魚も食べない。弟はまだちいさいから、なんでも大きく見えている。ママは科学者だから、科学的にまわりを見ているかも？ パパは昔のゲームばかりしているから、まわりもゲームみたいに见えているのかな…。人によって、見え方はちがうんだ。キミはどんなふうに見えているのかな？



※色覚しょうがいのあるトーマスは人と見え方が違います。でも、人はだれしも考え方や感じ方が違います。多様性を考えるお話。

「バラクラバ・ボーイ」

ジェニー・ロブソン／作 文研出版

ある日、僕たちの学校に転校生がやってきた。でも、トミーは一日中バラクラバ帽をかぶっている。運動するときも、食事をするときも… どうして、バラクラバ帽をかぶっているの？ 帽子の下には何があるの？ ぼくとドゥミサニのたいくつな毎日は、バラクラバ・ボーイによって大きく動き出したんだ!!。



※日常の中で起きた小さな異変。私たちは、見た目だけでなく、「どうしてそうなのかな?」とちょっと思いをめぐらせることができるだろうか？

「たった2℃で…」

キム・ファン／文 童心社

人の体温はだいたい36℃くらい。でも、2℃上がったら、どうなる？ 寒気がしたり、食欲がなくなったり、とても大変だね！

地球も同じこと。海水の温度、気温…たった2℃上がっただけで、多くの動物や植物に影響を与えることになる。そして私たちは今、そんな地球に生きている。自分たちに何ができるか考えてみませんか？



※私たちが生きている地球環境が急速に変化しています。私たちが幸せに、安全に暮らすためにできることを考える絵本。

「ふみきりペンギン」

おくはらゆめ／作・絵 あかね書房

小学3年生のゆうとは、ある日踏切でペンギンたちが話をしているのを見てしまう。同じクラスのるりは、公園の白いへびのウワサが気になってしかたがない。ななこは、学校のトイレでライオンと出会う…。不思議なことがいっぱい毎日。でも、不思議ってワクワクするね！



※不安な気持ちを「それでもいいんだよ!大丈夫」と認められるやさしいお話。

課題図書 高学年

「とびたて!みんなのドラゴン」

難病ALSの先生と日明小合唱部の冒険

オザワ部長／著 岩崎書店

内気で人見知りのマナミが通う小学校には、合唱部がありました。部員募集のコンサートを体育館で聴いたマナミは、一生懸命歌う部員たちの姿を見て、心の中に一つの「卵」が生まれたことを感じます。

同級生、顧問の先生と夏のコンクールに向けて頑張る中で、マナミの「卵」は殻を破りどんどん変化していきます。



※読み進めるうちに、合唱部員や先生の挑戦する気持ちや、奮い立つ心に胸を打たれる作品。

「森に帰らなかったカラス」

ジーン・ウイリス／作 徳間書店

戦争が終わって12年経った頃のロンドン郊外の町。11歳のミックは、森の中でけがをしたカラスを見つけます。けんめいに手当てをするうちにすっかりなついてしまったカラス。ジャックと名付けられカラスは、町の人気者になりますが…。

野生のカラスは森に帰すべき?

大切なのは、誰の気持ちなの?



※戦争の傷跡が残るロンドンを舞台に、のちにロンドン動物園の飼育員となった主人公の実話にもとづく心温まる物語。

「マナティーがいた夏」

エヴァンス・グリフィス／作 ほるぷ出版

11歳の夏休み。ピーターは仕事を頑張るママのかわりに、認知症のおじいちゃんのお世話をしながら、トミーと「生き物発見ノート」を完成させるつもりでした。おじいちゃんからいつも聞かされていた、運河に住むマナティーと遭遇し、たちまち夢中になりますが、ある日、そのマナティーが事故でけがをしてしまいます。マナティーを守るため、頑張るピーターですが、いろんな出来事が重なって…。



※様々な出会いと別れを通して、成長する少年の心をさわやかに描いています。

「ぼくの色、見つけた!」

志津栄子／作 講談社

ぼくは、赤と緑の区別がつかない。ママはそんなぼくのことを「かわいそう」って言うからすごくショックだった。それに、ものすごく過保護!

5年生になって、ようやくぼくはひとりでおじいちゃんの家に行くことができた。自然に触れる中で、ぼくは心が震える瞬間に出会ったんだ!自分だけの「大切なもの」を見つけない!!



※自身の障がいに向き合い、自分だけの光を見つける少年の成長の物語。